

あなたの考えるライフスタイルは？

あなたがご自身の生活の中で商品やサービスを購入・利用し、ごみを捨てる、あるいはリサイクルなどを行う場合に、将来どのような様式（スタイル）が望ましいとお考えですか。また、リサイクルやごみ処理に要する費用について、どのように負担することが望ましいとお考えですか。以下の商品やサービス及び処理費用負担について、それぞれ2、3の様式（スタイル）を例示として挙げてみました。選択肢の内容をお読みの上、あなたが望ましいと考える番号に○印をつけて下さい。

(別添のアンケート用紙にも以下と同様の内容を記載しておりますので、そちらを読みながら回答してください。)

[1.飲料]

1. お店においてあるのは、缶やペットボトル入りがほとんどです。
飲んだあとは、分別して市の資源ごみ収集に出します。
2. 缶やペットボトル入りもありますが、デポジット（預託金）数十円程度を上乗せしてリターナブルびん入りの製品を買います。
びんはお店に返却して、預けていたお金を受け取ります。
3. 飲料は量り売りされています。容器を持参して詰めてもらいます。
容器は、洗ってまた使うようにします。

[2.野菜]

- (1) お店での様子は？
1. 買いたい商品を買い物かごに入れ、レジで精算します。
 2. 店員さんと相談、必要な量だけ購入します（対面販売）。
- (2) 後始末は？
1. 調理くずは、市のごみ収集に出します。ラップやトレイは、分別して市の資源ごみ収集に出します。
 2. できるだけ生ごみが出ないようにしますが、出た生ごみは、市のごみ収集に出します。
 3. できるだけ生ごみが出ないようにしますが、出た生ごみは、自宅で堆肥化して、園芸や自家菜園で使います。

[3.市内での食事]

- (1) お店での様子は？
1. これまでのお店と変わりありません。食べたいものを注文し、食べられないものは残します。
 2. 食事の量や食材の種類を事前に訊かれ、出される料理に反映されるので、食べ残しは出ません。
- (2) 後始末は？
1. お店では、食べ残しがあったら市の焼却施設へ持ち込みます。
 2. やむを得ず残った料理も、お店が用意した持ち帰り容器に入れて、持ち帰ります。
 3. やむを得ず残った料理も、家から容器を持ってきて、持ち帰ります。

[4.事業者の皆さんが使用する印刷・コピー用紙]

(1) お店での様子は？

1. 古紙利用率が低く真っ白な用紙が安いのでそれを購入します。
2. 古紙利用率が低く真っ白な用紙は買わず、古紙利用率が高く少しくすんだ色の用紙を購入します（値段は同じになっています）。
3. 古紙利用率が低く真っ白な用紙も売られていますが、値段が高くなっています。古紙利用率が高く少しくすんだ色の用紙を買います。

(2) 後始末は？

1. 古紙は分別して、市のリサイクル施設へ持ち込むか、市の焼却施設へ持ち込みます。
2. 古紙は分別して、古紙回収業者へ引き渡します。

[5.家電製品や家具などの耐久消費財]

(1) お店での様子は？

1. 機能や素材、価格などに着目して新製品を購入します。
 2. 安価な新製品も売られていますが、多くの場合は、中古品を購入します。
 3. 価格が少々高くても長期間使用できそうな製品を購入します。
- なお、新製品はリサイクル・処理費用などを含め、今よりも価格が高くなっています。

(2) 後始末は？

1. 使わなくなったら市の大型ごみ収集に出します。
2. 使わなくなったら中古品としての譲渡、販売を考えますが、難しい場合は料金を払って市の大型ごみ収集に出します。
3. 使わなくなったら中古品としての譲渡、販売を考えますが、難しい場合は製造メーカーに引き渡して、リユース（再使用）、リサイクルしてもらいます。

[6.リサイクルやごみ処理に要する費用]

1. リサイクルやごみ処理の費用は税金でまかないます。このため、ごみを多く出す人も少ない人も税金の負担に差はありません。
2. リサイクルやごみ処理の費用は、一部を税金でまかないますが、市民もごみの排出量に応じて料金を支払います。ごみを出す量が少ない市民は少ない費用負担で済みます。
3. リサイクルやごみ処理の費用は、市民がごみの排出量に応じて支払います（税金からは費用は出しません）。ごみを出す量が少ない市民は非常に少ない費用負担で済みます。